

編集： 山田浩司 & 美澄

Address: 2208 North Quantico Street, Arlington, VA, 22205, USA

Phone: 1-703-241-0621 E-Mail: mickeyy@pc4.so-net.ne.jp

まずはとにかく、ご無沙汰してどうもすみません！

2月末から3月にかけて、美澄と私は、「『サンチャイ通信』どうしよう？」と話す機会が多かったのですが、その後はだんだんお互いにこの話題に触れるのも躊躇するようになってきていました。

最大の理由は、これまでのマッキントッシュでの編集から、第3号を機に美澄が携行したウィンドウズのラップトップでの編集に切り替えようとしたことでした。あいにくこのラップトップには、私が編集に使っていたソフトウェア「ワード」が搭載されておらず、使い方がわからないワープロソフトで、レイアウトから編集し直す気持ちにどうしてもなれませんでした。

その間も時間はどんどん経過し、4月末を迎えてしまいましたが、幸い美澄の親友が月末からDCを訪ねてくれたのを良い機会に、「ワード」がパッケージングされているソフトウェアを持って来ていただきました。第3号の記事は2月時点で少しは書いてあったのですが、どうしても今の季節にマッチするネタではなかったので、結局全てボツにしてゼロから編集を行なうことにしました。4ヶ月分ですから、少し長くなりますのでご容赦下さい。

これで言い訳はもうできませんので、これからはなるべく定期的にお送りしてゆきたいと思います。
(浩司)

大後悔、ワシントン桜まつりを見逃す

ワシントンの桜はとても綺麗だとよく言われる。毎年3月下旬になると、桜を期待しつつワシントンにお立ち寄りになるJICAの理事もいらっしゃる。昔米州開発銀行に在籍しておられた大蔵省ご出身の目崎理事には、どこそこの桜は特に見ものだと言われ、随分と薦められ、一度家族で眺めに行こうかと考えていた。

3月25日は、「ワシントン桜まつり」のオープニングイベントとして、DCのリンカーン記念堂前で、私の故郷の隣町である岐阜県春日村からはるばる来られた和太鼓と踊りの披露があった。実家の父や、岐阜県庁の知人から事前に話は聞いていたので、家族全員で見物に出かけた。本番前に樋口村長に挨拶を済ませ、期待して演奏を見たが、寒すぎて子供は鼻水ダラダラ、10分で我慢できなくなり、演奏の合間の休憩時間にとっとと退散してしまった。今年の開花予想日は当初3月30日だった。ところが、その1週間前の週末が異常に気温が低く、開花が3~4日遅れることになった。

その結果、開花予想日は4月3日、世界銀行がJICAと定期協議をやる前日になった。あいにくこの週はこの定期協議の準備で連日深夜残業し、協議開始後も世銀側の英文議事録の作成やJICAミッションとの会食等で帰りが午前様になった。そして、このミッションがDCを後にした直後は、1週間のジャマイカ旅行であった。

こうして、「ワシントン桜まつり」は完全に見逃した。満開の桜すら全く見るができなかった。余談ながら、4月4日は野茂がボルチモア・オリオールズ相手にノーヒットノーランをやった日で、定期協議さえなければ大リーグの試合を観戦に出かけていたかもしれない。JICAの皆さん、お願いですから世銀との定期協議をこの時期にやるのはやめて下さい。目崎理事、桜を見に行けなくて申し訳ありません。岐阜県庁の伊藤さん、「桜まつり」のレポートがまともにできなくてすみません。来年こそは必ず桜と「桜まつり」を最優先するぞと、ジャマイカへの機中で密かに心に誓ったのであった。(浩司)

ビーチリゾートは子連れに向かず

ジャマイカ家族旅行

前項にてご紹介した通り、4月8日から14日にかけて、ジャマイカに家族旅行に出かけた。ジャマイカには、私達のネパール在勤時代にご近所付き合いをさせていただいていた大町敏行専門家が、JICAの医療プロジェクトの調整員として赴任されている。奥様の泰子さんと美澄は、カトマンズ時代の「つわり友達」で、次男の知輝君とうちの樹生は、誕生日が1週間ほどしか違わない。大町家は長男将太君、三男龍児君の3人兄弟で、樹生と千智の遊び相手に丁度良かった。大町さんの任期が6月上旬で終了することもあり、美澄はなんとかしてそれまでにジャマイカに遊びに行きたいと言い続けていた。ご主人と私の仕事の都合もあり、2月末頃ようやくこの日程で行こうということで調整がついた。

とは言っても1週間ずっと大町家というもの申し訳ないし、折角のジャマイカだから、前半はビーチリゾートでバカンスと洒落込もうと、モンティゴベイのWyndham Rose Hall Resortで3泊した。天候にも恵まれ、緑の海が眩しかった。サンゴ礁に生息する魚介類の生態を観察できるグラスボートや、ジャングルの中を竹で組んだイカダで静かに下るラフティングなど、オプションツアーも散りばめて、それなりに満足ゆくりリゾートを過ごした。でも、ビーチで寝転んで本でも読みながら日がな1日をのんびり過ごしたいという私の思惑は見事に外れ、ビーチやプールサイドで過ごした時間はごく僅か、プールといっても、幼い樹生や千智の相手だから、子供用のプールで行水する程度の過ごし方で、いささか消化不良だった。未だ子供が小さいと、ビーチリゾートをフルに楽しむことは難しい。

その後大町家のあるマンデビルにタクシーで移動。JICAの医療プロジェクトは南部の3郡をカバーし、海拔1000mの高原の町であるマンデビルを拠点としている。業務調整の大町さんの他に、提携する弘前大学から3人の長期専門家の先生方がいらしている。ちょうど、短期専門家の芳野先生が任地での活動を終了されたところで、大町家主催の歓送会が開催され、専門家の皆様にもお目にかかって、現場でのお話やJICAへのご提言、世銀への苦言等を伺うことができた。また、奥様方のご苦労話も含め、美澄も私も、途上国の現場ならではのリアルなお話に接することができて、貴重な体験だったと思う。

また、芳野専門家の日本大使館への報告と空港見送りで大町さんが首都キングストンにいらっしゃるのに同行させていただいた。キングストンの日本大使館には、私達のネパール在勤時代に大使館におられた大西書記官が赴任されており、キングストンの夜は昔話に華が咲いた。余談ながら、キングストンのJICA駐在員事務所の内藤所長も元ネパール事務所員であり、南アジアの山国の関係者が、カリブ海の島国に集結するのも奇妙な縁である。

大町さんにご紹介いただき、UCC コーヒー（上島珈琲株）の現地駐在員から現地で独立され、既にジャマイカ在住17年という瀬山さんにお目にかかることができた。ジャマイカは最高級のコーヒー「ブルーマウンテン」で有名であり、お土産は絶対これにしたいと思っていたが、瀬山さんのオフィスで、市価よりも安く、良質の豆を購入させていただいた。豆以外にも、ジャマイカのインスタントコーヒーが世界一美味しいとか、ココアもなかなかいけるだとか、地元でその道のご専門の方に聞かないとなかなかわからないお話を聞くこともできた。瀬山さんの夢は、最高級のブルーマウンテンの市場開拓にある。未だ米国への輸出は開拓できていないそうだが、確かにこのコーヒーは冷めても酸味が出ず、誰が飲んでも「おいしい」と好評であり、少なくとも私達がDCにいる間は、知り合いを何人か集めてでも通販の注文をしたいと思っているくらいだ。DCのブルーマウンテンは1パック30ドル近いが、私達がキングストンで買ったのは、それよりも良質でかつ価格が半額以下であるので、送料が多少かかっても瀬山さんの会社経由で購入したいと思う。

大町三兄弟とこころゆくまで遊ぶことができた樹生と千智は大満足。樹生は長男将太君と暴れまわっていつも汗だく、千智は、大町家のお兄ちゃん達に可愛がってもらって喜んでいて。私達は、DCにいるとなかなか散髪をさせてくれない樹生を、マンデビル滞在中に大町三兄弟のような丸刈りにしてしまおうと密かに企んでいたが、マンデビルを発つ前日夜になってようやく樹生がその気になり、すぐに美澄がバリカンを入れて、樹生はさっぱりとした頭になって帰途についた。

大町家の皆様には大変お世話になりました。次は日本でお目にかかることを楽しみにしております。
(浩司)

Mikio の幼稚園通い!

1月に7件見てまわった幼稚園もようやく Westgate Child Center に決まり、2月1日から通いだした樹生君、最初の3日は泣いて嫌だと言い、幼稚園に残して別れる時も泣いていたのですが、1週間程で落ち着き、今では元気よく幼稚園に通っています。

Westgate Child Center は日本人が多く、全体の10%が日本人で樹生のクラス (Pooh Land、2歳半～3歳児クラス) も24人中4人が日本人です。先生たちも英語を話せない子供の受入に慣れていますが。英語を話せなかった樹生も通っているうちに「yes、no」から始まり、今では迎えに行くと「Mammy is here!」と文章を作れるようになってきました。また、幼稚園で覚えた歌を時々家で披露してくれますが、最近ではどんどん歌のレパートリーが増えてきています。

先生によると、樹生は内気ではないのでよくしゃべり、日本語でも平気で皆の前で話しているそうです。先生はその内容をわかった振りをして聞いているとのことでした。幼稚園ぐらいたと言葉ができなくてもコミュニケーションがはかれるのと、言葉の吸収が早いので、3ヶ月が過ぎた今、すっかり馴染んでいるようです。先生のお話を聞く時は、最前列のど真ん中に陣取り、一言も聞き漏らすまいとばかりに集中して聞いているようです。

一時、樹生君は、「幼稚園で皆から笑われる」と言って気にしていたことがあります。新入りの園児へのいじめみたいなものかと思っていましたが、普段から自宅でも踊ったりウルトラマンや仮面ライダーのポーズを取ったりする姿を見ているだけに、きっと同じことを幼稚園でもやって皆の笑いを誘っているのだろうと想像しています。

Westgate Child Center では、週毎に「宇宙」「花」などテーマを決め、毎日そのテーマにそって先生がお話をしたり、塗り絵を指導したりしています。塗り絵をした絵には、必ず「MIKIO」と名前が書かれ、親が迎えに来た時に持って帰れるよう、廊下の壁に掲示されます。樹生は、「MIKIO」が自分の名前だと認識できるようで、最近では自分で「MIKIO YAMADA」と書けるようになってきています。もっとも、書き順はバラバラですが。

金曜日は「show & tell」と言って週に1回オモチャなど自分の好きな物を皆の前で披露する日になっています。この日はオモチャを持って行ってもいいので樹生は楽しみにしています。5月に入ってから「bike day」になり、自転車を持っていき園庭で乗る日になりました。もちろんこの日も樹生君の好きな日で、毎日朝起きると「今日自転車持って行ってもいい?」と聞いてきます。多摩市に住んでいた頃に週1回だけ通わせていたバオバブ保育園と今の幼稚園とどちらがいいかと尋ねると、今の幼稚園の方がいいと答えます。

こうして環境に慣れてきた樹生君を、先日近所の書店に連れて行ったところ、児童書コーナーにある機関車トーマスのオモチャにすかさず直行し、他のアメリカ人の子供達と仲良く遊び始めました。そのやりとりを近くで眺めていると、他の子供達ときちんと英語で意思疎通を図っていることに気付かされました。自分がこのオモチャを使いたいと思ったら「No, I want it.」とはっきり言っていました。その程度の簡単な会話なのかもしれませんが、幼稚園での普段の姿を垣間見た気がしました。

通う前は馴染めるかどうか心配していましたが、子供は早いですね。帰る頃には私の通訳をしてくれないかな?と密かに期待しています。とはいえ子供は忘れるのも早いそうですが・・・。(美澄)